

国際友情プロジェクト —ネパールの子どもたちのために—

日本赤十字社では、子どもたちが人のいのちと尊厳を大切に
する気持ちを持ち、またそれを実行に移せるようになる
ことを目的に、幼稚園・保育所や小・中・高校など学校現場で先生と一緒に「青少年赤十字」の活動を行っています。
活動の1つにある教育等支援事業（国際友情プロジェクト）では日本の子どもたちが持ち寄ったり、集めたりした
青少年赤十字活動資金（1円玉募金）やその他の寄付金によって支援が行われています。

ネパールってどんなところ？

ネパールはヒマラヤ山脈のそばの、東西に細長いかたちをした内陸国です。



なぜ支援しているの？

ネパールでは、安全な飲み水を利用できる人が全人口の77%、トイレなどの衛生設備を利用できている人は46%しかいません。また、特に都市部では、増え続けるゴミ・下水に対して処理が追いついていない状態です。

一方で、トイレの後にトイレトペーパーではなく手と水を使って清潔にする習慣や、食事を手で食べる習慣があり、子どものころから、安全な衛生設備を使える環境で手洗いなどの衛生習慣を身につけることがとても大切です。

教育面においても、人口の60%が学校に通ったことがないといわれており、より多くの子どもたちが学校に通えるような支援が必要です。



“国際友情プロジェクト”の活動

こうしたネパールの状況に対して、ネパール赤十字社と協力して次のような活動を行っています。

〔衛生・教育環境の改善〕

学校の中の、水道・トイレ・ゴミ箱やゴミ焼却炉など、衛生に関する設備を直したり

新しく作ったりするとともに、子どもたちが先生や地域の人たちと一緒に衛生知識を学び、学校や地域で伝えます。



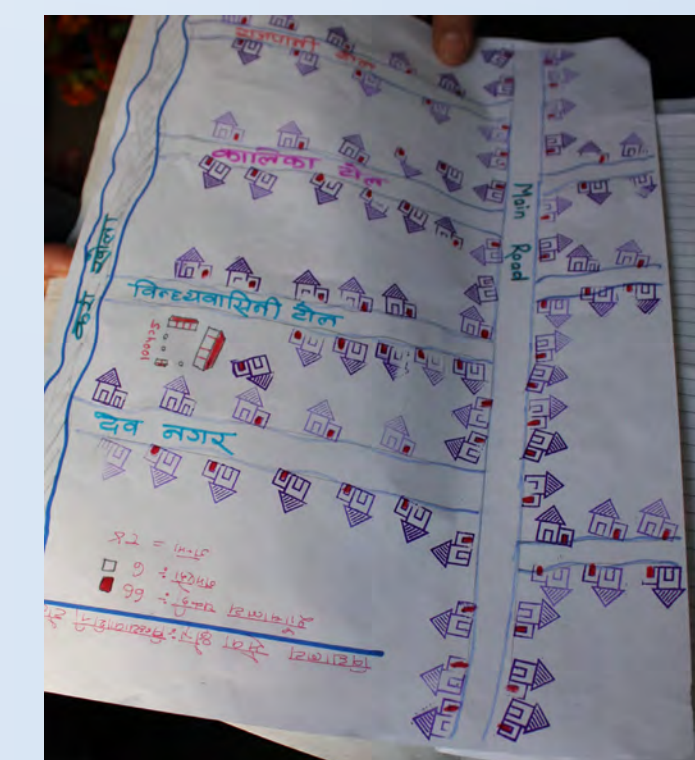
支援で作られた校内のゴミ箱と水道

〔青少年赤十字活動の支援〕

生徒の活動をサポートできるよう、先生向けの研修会を開いたり、先生向けの教材を配付したりしています。各校で生徒が救急法や衛生について学び、他の生徒や地域の人たちに伝えています。



先輩から後輩へ、手洗いの仕方を教えます



生徒が調べて作った、地域の衛生設備のマップ

〔国際理解・親善〕

日本とネパールの子子どもたちが互いを知り、より身近に感じることができるよう、トピックアルバム（絵やメッセージを書いたアルバム）を交換したり、直接訪問して交流を深めたりする活動があります。また、ネパールの子子どもたちが必要とする文具を贈る活動もあります。



ネパールの学校に届いていた、日本からのトピックアルバム



受け取った文具セットを大切に使っている生徒

みんなが参加しよう！

みなさんぜひ活動に参加して、広く世界の子子どもたちの様子を知り、助け合いましょう。トピックアルバムなどを作成して交換したり、ネパールのことを調べてみたりすることを通じて、より身近に感じられます。この支援プロジェクトに対して、お金を寄付することもできます。また、ネパールの子子どもたちと直接交流できる、赤十字の交流プログラムが開催されることもあります。

